

# The Tokyo Tanuki Times

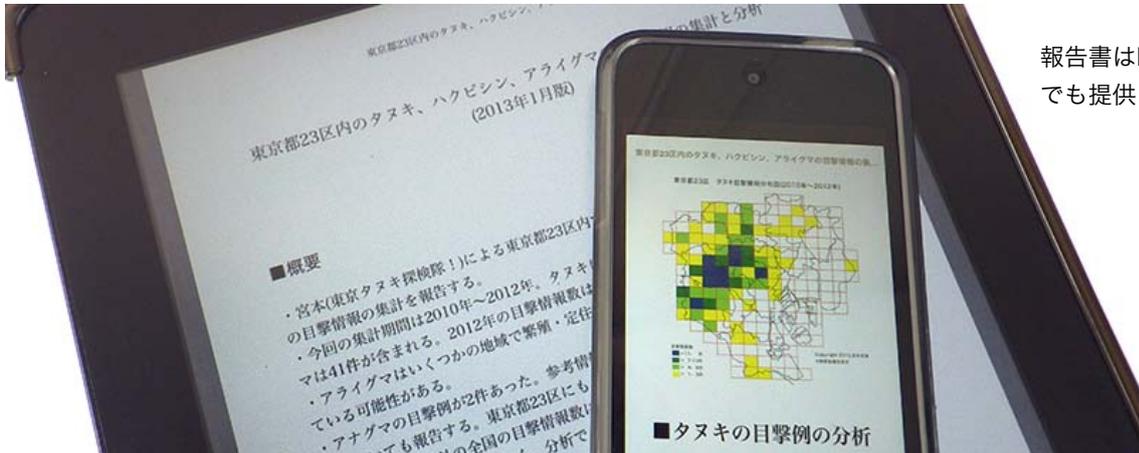
東京タヌキタイムズ

2013年2月号 通巻50号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2013

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## 最新報告書、今年も新たな展開が！ 通巻50号到達しました



報告書はPDF、ePub  
でも提供しています。

東京タヌキタイムズは今回で50号になりました。今後もお愛読よろしくをお願いします。

### 報告書トピックあれこれ

そして今年も新しい報告書をホームページで公開しました。内容は例年とだいたい同じなので、ちょっとつまらなく感じるかもしれません。しかし、新情報が合間合間にはさまっていますので気を抜かずに最後まで読んでいただきたいものです。

例えば、中央区で初めてタヌキが目撃されました。実はこれまでも生息の可能性がある場所はありませんでした。ただ、目撃例は無かったため生息していないのだろうと思っていたのですが、まさにその予想された場所で目撃されたのです。ですが、そこにずっと定住していたのか、最近どこか他所からやって来たのかはわかりません。新たな目撃情報が待たれます。これで東京都23区でまだ目撃情報がないのは墨田区だけになりました。

ハクビシンが水平方向にジャンプする距離が明らかになった例もありました。その距離は約80cmという平凡な記録ですが、その場所はなんとビルの4階！ こんな高い場所で目撃されたのも初めてのことです。

ハクビシンが歩道橋を渡った、という例も2件ありました。道路を渡るのは危険すぎる、しかし横断できる電線もない…そういう状況の時には歩道橋も利用するという事なのでしょう。歩道橋を敬遠する人間も多いでしょうから、ハクビシンにとっては安全な経路かもしれません。

報告書ではタヌキの長距離移動の事例も紹介しています。目撃情報がほとんど無い地域にタヌキが現れた場合、近くの定住地からやって来た可能性が考えられます。例えば皇居の東側地域がそうです。以前、大手町のビル地下でタヌキが捕獲される事件がありましたが、これも長距離移動の好例です。

ハクビシンの食べ物について、今回はこれまでの事例をまとめました。そのほとんどは果実ですが、東

京都23区でもいろいろな果樹があることがわかります。1番人気はカキノキ(柿)ですが、これは樹木数が多いためでしょう。そんなハクビシンは極端な果実食なののでしょうか。果実の他に食べるものがない、というのがその実情なのかもしれません。

### アナグマについては次号！

しかししかし、今年の報告書での本当の目玉は、タヌキでもハクビシンでもアライグマでもないかもしれません。なんと、アナグマの目撃情報があったのです。東京都23区には生息していないと考えられていたアナグマ。次号で詳しく報告します。

### スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>